

## 効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
令和元年度	市単	多文化共生社会実現事業			地域経営室
事業実績額(円)		6,343,509			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	生涯現役プロジェクト			
	基本的な方向	“健康なばり”の推進/世代間交流の促進による地域の元気創造/支え合いの地域福祉の推進/「達成感」や「連帯感」を育む生涯スポーツの推進/多様な生涯学習機会の提供			
	具体的な施策	時代に合った地域づくりと誰もが活躍できる地域共生社会の実現			
事業期間		令和元年度～令和3年度			
事業の目的		<p>名張市人権センター内に「多文化共生センター」を設置し、外国人に対する総合的な支援を行います。市内に居住する外国人の暮らしの現状把握を行い、その現状を踏まえたうえで、あらゆる相談に対応する窓口機能や異文化交流・国際理解の促進のため、地域住民と外国人が交流するサロンの運営や交流イベント、また、専用ホームページの開設やリーフレット等による情報発信を行い、外国人を総合的に支援します。さらに、地域住民、各種団体が主導的に取組めるよう支援を行い、多様な主体が多文化共生社会の実現に向け、取り組むものとなることを目指します</p> <p>また、外国人児童生徒への対応として、市内小中学校で包括的にサポートする役割として、新たに総合サポーターを配置します。</p>			
全事業期間における本年の位置づけ		多文化地域共生社会の構築に向け、各関係団体等と連携しながら、事業の立ち上げ開始に向け取組を進めます。			
重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値(H31.3)	R元年度目標値	R元年度実績値	
	外国人住民数の維持	0人	前年比 10人増	146人増	
	多文化共生センターの延べ利用者数	0人	前年比 300人増	100人増	
	地域が主体となって実施する外国人との交流事業の開催回数	0回	前年比 1回増	1回	
令和元年度の取組概要		<p>&lt;多文化共生センター&gt; 居場所・ネットワークづくり、異文化交流、国際理解の促進、多言語による情報提供など</p> <p>&lt;学校における外国人児童生徒サポート事業&gt; 外国人児童生徒に対し、日本語を理解して学習に取り組めるようになるための日本語指導や、学校生活を安心して過ごせるための支援を実施</p>			
外部有識者による効果検証	検証の時期	令和2年7月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	<p>・コロナ禍で物流や運搬などが止まってしまい、外国人誘致も大変な影響が出ている。観光業のインバウンドは大きな影響が出ているが、今後は工場関係や建設業など様々な分野で影響が出てくると懸念される中、外国人労働者も解雇されて、職を探しているという話を聞いている。これからも増えていく派遣切りなどに対するサポートなども必要と思うし、どうしていくかを形づけしていきたいけない。</p> <p>・コロナ禍で、今後、色々な業界がインターネットなど通信技術に頼っていく部分が非常に大きくなっていくと思われ、人的な部分の労働も減少していくと思われる。しかしながら、人と人とのつながりは非常に大事な部分であると思っている。</p> <p>・コロナ禍でコミュニケーションツールとしてZOOMなどが浸透したが、地域や高齢者にとっても使用できるような環境が必要なのでは。</p>			
	結果の公表	令和2年9月以降 ホームページで公表予定			
市議会による効果検証の有無		有 ・ 無 ( 時期 : 令和2年8月 )			
総合評価		地方創生に非常に効果的であった。			
今後の方針	方針	事業の継続			
	理由	計画どおり事業を継続する			